

## 4 . 避難について

Q . 揺れている間に行動してはいけないのか？

A . あわてて行動して、かえって大きなけがをする可能性もある。揺れの度合いによって臨機応変な対応が必要だが、冷静な対応が一番大事。

Q . 地震で揺れている間はどうすべきか？

A . 建物の耐震性にもよるが揺れがおさまるまでは、家の中の安全な場所、例えば玄関やトイレなどは比較的頑丈だといわれているので、そういったところや丈夫なテーブル、机の下などに避難し、揺れがおさまってから外に避難した方がよいとされている。でないと落ちてきた瓦や倒れてきたブロックなどで負傷することがある。

Q . 東南海・南海地震発生時に海上にいる場合は、どこに逃げればよいのか？

A . 高潮なら、波は海の表面だけであるが、津波の場合は海面全体が盛り上がる形となる。また、波の周期が長いので、沖に出ていた人は地震やそれに伴う津波が来たことすら知らない場合がある。津波は、水深 30m ~ 50m以上のところに避難すれば安全と言われている。陸地に近づくほど船の制御が不能になってくるので、沖合いに6時間 ~ 10時間はとどまってほしい。

Q . 地震が発生したら、自動車は使用しない方がいいのか？

A . 自動車の使用は控える方向で考えて欲しい。

Q . 津波避難地が遠い場合どうすればよいのか？

A . 近くの鉄筋コンクリート造り3階建て以上の建物へ避難してください。

Q . 地震直後の停電時、津波情報はどうしたら得られるのか？

A . 電池で聞こえる携帯ラジオは常に近くにおいてほしい。防災行政無線は自家発電装置が付いているので、停電時でも放送が流れる。ただし、海岸近くにおいて、今までに経験したことのないような強い揺れを感じたら、情報を待つのではなくすぐに避難してほしい。

Q . 田や畑に避難するのはどうか？

A . 上から降ってくるものがないので大きなケガをすることはない。安全なので、良いと考えられる。